

操作簡単、水田整地や除雪に



三陽機器が開発した乗用作業機

三陽機器 乗用作業機を開発

農業機械メーカー・三陽機器（岡山県里庄町）は、農作物の積み降ろしや水田の整地、

駐車場の除雪など多用途に使える乗用作業機を開発した。操作しやすい設計で、主要顧客

層の農家以外への売り込みも図る。

全長二・六メートル、幅一・二メートル、高さ一・四メートル。

一般的なトラクターと比べ小さく、ヒールハウス内でも使える。八馬力で最高時速は五キロ。軟弱地盤でも走行しやすい無限軌道を採用している。

運転席の足元に前進と後進用の二つのペダルがあり、足を離すと止まる。操作レバーは、油圧式フロントローターの上げ下げと角度調整、作業機の方向転換に使う二つで、トラクターなどの運転に慣れていなくても扱いやすいという。

重さ二百八十キロまで対応可能なローターの先には、大容量バケットや、整地に使う広幅爪付きバケットなど目的に応じた機具を付ける。

価格は百五十万円前後で、農家を中心に売り込む。除雪用は、北陸地方など豪雪地帯のホームセンターやガソリンスタンドなどへの販売を想定。初年度百台の販売を目指す。

同社はトラクター前に装着するフロントローターが主力製品で、国内シェア約70%。寺前公平社長は「操作は簡単で、トラクターが入れない狭い場所でも作業できる。農家以外の販路開拓にも力を入れた」と話している。（木村俊雄）